平 成 23 年 度
横浜市物流等関連施設
事 業 報 告 書

横浜港埠頭株式会社

Ⅰ. はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
Ⅱ. 平成23年度横浜港の貨物取扱に関する概観（平成23年4月～平成24年3月） ・ 1
1.コンテナターミナル関連 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（1） 概観 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（2） 公共コンテナターミナル着岸隻数 ・・・・・・・・・・・・・・ 2
2.自動車関連 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（1） 概観 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（2） 公共バース自動車船 着岸隻数 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
Ⅲ. 主な業務実施報告事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1.使用許可等に関する業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（1） 施設の利用調整及び使用許可 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（2） 施設使用上の制限等に関する指導 ・・・・・・・・・・・・・・ 4
（3） 工作物等設備及び工事の承認 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（4） 施設の工事調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
（5） 業務統計書、指定可燃物等の設置の承認書類、自動車保管場所使用承諾書 5
2.施設及び設備の維持管理に関する業務 ・・・・・・・・・・・・・・・ 6
3.施設の運営に関する業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4.その他の業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
（1） 食品販売届 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
（2） 電子申請の普及啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
Ⅳ. その他の報告事項（基本協定第30条） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
1. 施設の使用状況及び貨物取扱実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（1） 施設の使用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（2） 貨物取扱実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
2.施設使用等に係る申請手続き件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
3.管理運営業務実施報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
（1） 点検及び修繕業務実施報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
（2） 清掃業務実施報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
（3） 緑地管理業務実施報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
4.管理運営における施設使用者との協議及び対応の状況 ・・・・・・・・・ 15
（1） 調整会議の開催等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
（2） 利用者アンケート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
5.収支決算等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
（1） 収支 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
（2） 繰越資金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
（3） 監査等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
6.研修等の実施状況について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
Ⅴ.その他（指定管理申請時の取組み・提案の実施状況等） ・・・・・・・・・・・・ 18

1.効率的な管理、利便性向上による利用促進等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
（1） 公共・公社コンテナターミナル関連施設の相互融通 ・・・・・・・・ 18
（2） 在来貨物取扱施設の効率的利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
（3） その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
2.経費削減策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
3.安全管理・法令の遵守等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
（1）安全対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
（2）緊急時の対応策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
（3）法令遵守の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
（4）個人情報の保護 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
Ⅵ.最後に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

【参考資料】

参考資料 1 管理施設
参考資料 2 港湾施設使用料徴収額と横浜港コンテナ取扱量
1. 港湾施設使用料徴収額
2. 横浜港コンテナ取扱量

Ⅰ．はじめに

（財）横浜港埠頭公社は、平成 19 年度から平成 22 年度まで 4 年間「横浜市コンテナターミナル関連施設」の指定管理者として、公共コンテナターミナルと公社ターミナルの一体利用の促進を図るなど、施設使用者が利用しやすい運営管理に努めてまいりました。

平成 23 年度は、新たに在来ふ頭の関連施設を含めた「物流等関連施設」の指定管理者として、物流関連港湾施設の一元的な管理運営を開始しました。

この指定管理者業務の開始にあたっては、「本牧ふ頭の上屋等」及び「建材取扱施設」の指定管理者業務を実施していた団体の職員を受け入れるなど、使用者の視点に立った業務の継続、サービスの維持・向上に努めるとともに、より効率的・効果的な業務の実施に取り組んでまいりました。

なお、（財）横浜港埠頭公社は、平成 24 年 4 月 1 日に横浜港埠頭株式会社が「特定外貿埠頭の管理運営に関する法律」（昭和五十六年四月二十五日法律第二十八号）に基づく指定会社として指定され、一切の権利及び業務を承継した時をもって解散しました。

つきましては、平成 23 年 3 月に横浜市との間で締結した「物流等関連施設　指定管理者基本協定書」の第 30 条の規定に基づく、平成 23 年度の指定管理者業務については、横浜港埠頭株式会社から事業報告します。

Ⅱ．平成 23 年度横浜港の貨物取扱に関する概観（平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月）

1. コンテナターミナル関連

(1) 概観

（平成 23 年度のコンテナ取扱個数の前年度比較）　（単位：TEU）

	年度	4-6 月	7-9 月	10-12 月	1-3 月	計
横浜港全体（公共･公社 CT 計）	23 年度	767,864	761,365	786,516	724,956	3,040,701
	22 年度	864,355	832,050	810,162	752,523	3,259,090
	前年同月比	88.80%	91.50%	97.00%	96.30%	93.20%
公共ターミナル	23 年度	277,883	267,501	352,398	308,174	1,205,956
	22 年度	287,940	298,736	289,966	268,903	1,145,545
	前年同月比	96.5%	89.5%	121.5%	114.6%	105.2%
公社ターミナル	23 年度	489,981	493,864	434,118	416,782	1,834,745
	22 年度	576,415	533,314	520,196	483,620	2,113,545
	前年同月比	85.0%	92.6%	83.4%	86.1%	86.8%

・　公共コンテナターミナルでは1,206千TEUのコンテナを取り扱い､内訳として、本牧公共コンテナターミナル（BC、D）では 1,141 千 TEU、大黒公共コンテナターミナルでは 64 千 TEU、となりました。

・　本牧ふ頭の公共コンテナターミナルでは、東日本大震災による影響や、北米を中心とした基幹航路の減少等が影響しましたが、平成23年10月に本格的に開始された本牧ふ頭D4岸壁耐震化工事に伴う利用船社の公共ターミナルへのシフト及び日中間を主とした近海航路が好調であったことから、3.9%の増加となりました。

・　大黒ふ頭の公共コンテナターミナルでは、新規航路の増加や本牧ふ頭からの利用船社のシフトにより、対前年度35.6%の増加となりました。

・　なお、(財) 横浜港埠頭公社が管理する専用ターミナルでは、東日本大震災の影響及び本牧ふ頭D4岸壁耐震化工事に伴う利用船社の公共へのシフト等により、対前年度13.2%の減少となりました。

(2) 公共コンテナターミナル着岸隻数

(平成23年度の着岸隻数および着岸トン数の前年度比較)

埠頭名	ターミナル	項目	23年度	22年度	着岸増減
本牧	BC1	着岸隻数	572隻	528隻	44隻
		着岸トン数	12,231,580t	18,055,174t	▲5,823,594t
		1隻当たりのトン数	21,383.88t	34,195.41t	▲12,811.53t
	C5—9	着岸隻数	2,221隻	2,212隻	9隻
		着岸トン数	19,512,910t	22,255,916t	▲2,743,006t
		1隻当たりのトン数	8,785.64t	10,061.44t	▲1,275.80t
	D1—3	着岸隻数	638隻	443隻	185隻
		着岸トン数	9,760,022t	3,077,016t	6,683,006t
		1隻当たりのトン数	15,297.84t	6,945.86t	8,351.98t
大黒	T9	着岸隻数	285隻	229隻	56隻
		着岸トン数	2,681,526t	2,497,566t	183,960t
		1隻当たりのトン数	9,408.86t	10,906.40t	▲1,497.54t
南本牧	MC1	着岸隻数	673隻	648隻	25隻
		着岸トン数	12,878,480t	13,171,454t	▲292,974t
		1隻当たりのトン数	19,135.93t	20,326.32t	▲1,190.39t
計	—	着岸隻数	4,389隻	4,060隻	329隻
		着岸トン数	57,064,518t	59,057,126t	▲1,992,608t
		1隻当たりのトン数	13,001.71t	14,546.09t	▲1,544.38t

・　公共コンテナターミナルの着岸隻数は4,389隻で、取扱量の変化に反比例し、対前年度で329隻増加の108.1%となっています。

・　着岸隻数は、前年度に比べ329隻増加していますが、着岸トン数は減少しています。これは主に本牧ふ頭BC1の内航船着岸隻数が増加したことなどが主な要因です。

2. 自動車関連

(1) 概観

（完成自動車の動向）　　（単位：台）

	年度	4-6 月	7-9 月	10-12 月	1-3 月	年間
輸出	23 年度	33,500	50,800	64,200	66,600	215,100
	22 年度	71,300	72,700	70,100	62,100	276,200
	増減	▲37,800	▲21,900	▲5,900	4,500	▲61,100
トランシップ	23 年度	12,375	17,040	10,612	14,565	54,592
	22 年度	8,369	13,177	10,582	10,738	42,866
	増減	4,006	3,863	30	3,827	11,726
内航	23 年度	22,163	39,227	43,723	66,600	171,713
	22 年度	28,414	45,062	31,503	37,689	142,668
	増減	▲6,251	▲5,835	12,220	28,911	29,045
合計	23 年度	68,038	107,067	118,535	147,765	814,772
	22 年度	108,083	130,939	112,185	110,527	684,446
	増減	▲40,045	▲23,872	6,350	37,238	130,326

※事業者へのヒアリングによる

- 大黒ふ頭で取扱われた完成自動車の動向について、事業者に行ったヒアリング結果では、輸出は、東日本大震災直後の 4 月には対前年の 35%程度まで大きく減少しましたが、各メーカーの生産ラインの復旧及び遅れを取り戻すための増産が行われたことにより、年末にはほぼ前年度の並みの水準にまで回復しました。その後も順調に回復傾向を続けていますが、年度を通じての取扱量としては、前年の 80%弱にとどまりました。
- 一方、トランシップについては震災の影響はほとんど見られず、昨年秋に発生したタイ王国の洪水の影響により一時的な減少はあったものの、順調に取扱量を増やしており、年度を通じての取扱量は前年を 30%程度上回る結果となりました。
- なお、22 年度から（財）横浜港埠頭公社の専用施設で取扱われている内航船による自動車輸送については、前年を 20%上回る取扱がありました。

(2) 公共バース自動車船 着岸隻数

（平成 23 年度の着岸隻数の前年度比較）　　（単位：隻）

埠頭名	バース	23 年度	22 年度	着岸増減
大黒	T1・2	313	325	▲12
	T3～T8	749	786	▲37
	T9	27	39	▲12
計	—	1,089	1,150	▲61

※RORO 船を含む

・　平成 23 年度の公共ふ頭の自動車船着岸隻数（RORO 船を含む）は 1,089 隻となり、東日本の震災等の影響もあり、前年度から 61 隻減少しております。

Ⅲ．主な業務実施報告事項

1. 使用許可等に関する業務

平成 23 年 3 月に締結した「物流等関連施設　指定管理者基本協定書」に規定された「管理施設」の上屋、荷さばき地、コンテナターミナル用地、在来貨物ターミナル用地、荷役機械、港湾施設用地、事務所（総合事務所、上屋事務所）、その他事務所、厚生施設等の港湾施設の使用許可等について、年間を通して適正かつ迅速に対応しました。

※管理施設については、参考資料 1 参照。

(1)　施設の利用調整及び使用許可

施設の使用許可に関する申請書、届出書等については、EDI、FAX、窓口での申請、届出を円滑に処理しました。

なお、平成 23 年度の施設使用等に係る申請等手続き件数は、32,770 件でした。

(2)　施設使用上の制限等に関する指導

横浜市港湾施設使用条例第 4 条、第 6 条、第 7 条第 4 号、第 8 条第 1 項、第 9 条第 3 項及び同規則第 7 条、第 24 条から第 26 条までに規定する施設使用上の制限等に関し、適宜確認、指導を行いました。

(3)　工作物等の設備及び工事の承認

横浜市港湾施設使用条例第 6 条に規定された工作物等の設備や工事の承認については、港湾局関係課と連携を図りながら、実施しました。なお、平成 23 年度の実施は、工作物等の設備の承認 9 件、工事承認 15 件でした。主な設備及び工事承認は以下のとおりです。

（工作物等の設備承認例）

ふ頭名	内容
本牧ふ頭	通信ケーブル敷設
本牧ふ頭	地下管路内電線敷設
大黒ふ頭	資材物置設置
大黒ふ頭	電気自動車用充電コンセント設置

（工事承認例）

ふ頭名	内容
本牧ふ頭	支障移転工事
南本牧ふ頭	電気通信設備保守業務工事
大黒ふ頭	水道管漏水修理工事
出田町ふ頭	最少流量計測設備撤去工事

(4) 施設の工事調整

国、横浜市等の実施する工事等について、使用者又は、港湾局関係課等と連携し、荷役等に支障のないよう関係者との調整・対応を実施しました。

（主な対象工事案件）

主な工事	施工者	調整使用者
本牧ふ頭 A-3 号上屋ほか応急復旧工事	横浜市	上屋使用者
大黒ふ頭首都高速道路橋脚工事	首都高速道路㈱	大黒ふ頭利用者
本牧 C ﾊﾞｰｽ工事	横浜市	本牧 BC 使用者
本牧 D-4 再整備工事	国	本牧 D 使用者

(5) 業務統計書、指定可燃物等の蔵置の承認書類、自動車保管場所使用承諾書

届出書などの受付件数や貨物取扱実績報告書に基づく貨物搬入量など施設使用に関する業務統計書を、月次で報告しました。加えて、公共コンテナターミナル、上屋、完成自動車について、各々の貨物動向及び施設の使用状況について、考察を交えた報告書を四半期毎に作成し、港湾局へ報告しました。

また、指定可燃物等蔵置に関する承認等書類、自動車保管場所使用承諾書の発行等を年間を通して適切に実施しました。

2. 施設及び設備の維持管理に関する業務

施設及び設備の維持管理については、緊急対応･施設の空地及び事前調整の対応など利用者へのサービス向上と関連の委託･工事の一体発注に努める等コスト削減に向けた効率化に配慮し、業務を実施しました。

ただし、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及びそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能の影響等により、維持補修等の一部について、実施を見送らざる得ない状況ともなりました。

なお､見送った工事等については､平成 24 年度以降順次､確実に実施してまいります。

【主な小破修繕及び点検】

① 建築及び設備

小破修繕及び点検	実施時期
出田町ふ頭青果上屋ﾄｲﾚ詰り他補修	平成 23 年 4 月 8 日
山下ふ頭 A 荷さばき場公衆便所汚水管詰り補修	平成 24 年 3 月 8 日
浄化槽保守点検	平成 23 年 5 月～平成 24 年 2 月
上屋 44 施設の建築基準法第 12 条点検	平成 24 年 3 月

② クレーン及び関連設備

小破修繕及び点検	実施時期
本牧 D-1～3、大黒 T-9 号ﾊﾞｰｽｸﾚｰﾝ等管理委託	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月
大黒鉄鋼ﾊﾞｰｽｸﾚｰﾝ管理委託	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月
ｶﾞﾝﾄﾘｰｸﾚｰﾝ等修繕 22 件	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月
消耗品等購入 23 件	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月

③ 港湾電気設備

小破修繕及び点検	実施時期
電気設備保守委託	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月
消防設備保守点検整備委託	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月
遮断器細密点検	平成 23 年 11 月～平成 24 年 3 月
部品、消耗品購入 5 件	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月

④ 土木施設及び設備

小破修繕及び点検	実施時期
本牧ふ頭 D 突堤 D-10 号線道路補修	平成 23 年 6 月
大黒ふ頭 T-9 号バース門扉補修	平成 23 年 7 月
山下ふ頭 D 号荷さばき地 L 型側溝堆積土除去	平成 23 年 10 月
南本牧ふ頭 1 号線道路標識補修	平成 24 年 2 月

3. 施設の運営に関する業務

施設の運営に関する業務については、「物流等関連施設指定管理基本協定書」の仕様書に基づき、適切に管理運営を実施しました。

なお、特記事項として、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による施設等の損傷に対して、ふ頭内調整業務や施設巡回などの重点的な実施により情報の収集に努めるとともに、東京電力福島第一原発事故による放射能汚染対策として、利用者・関係者

への放射線情報の提供や放射線測定器の貸し出しを実施しました。

また、自然災害への対応として、平成 23 年 9 月 21 日に関東地方を通過した台風 15 号及び平成 24 年 1 月 23 日、2 月 29 日の降雪時において、当社の災害対策指針に基づき、第一警戒体制を発令し、各施設使用者への注意喚起、情報提供を実施するとともに、災害発生の防止及び被害状況の把握に努めました。

（主なふ頭内調整案件）

内　　容	実施時期
国道 357 号大黒ふ頭出口通行規制	平成 23 年 5 月
本牧ふ頭 D 突堤 1 号線道路拡幅工事に伴う交通規制等	平成 23 年 6 月
ﾄﾗｲｱｽﾛﾝ世界選手権ｼﾘｰｽﾞ横浜大会に伴う交通規制	平成 23 年 9 月
第 31 回横浜ﾏﾗｿﾝ大会に伴う交通規制	平成 23 年 12 月
降雪に伴う国道 357 号線の状況について (交通状況等のお知らせ)	平成 24 年 2 月

（巡回等の頻度）

ふ頭名等	頻　　度
山下ふ頭	平日毎日
本牧ふ頭	3 回/週
南本牧ふ頭	1 回/週
大黒ふ頭	1 回/週
本牧新建材、金沢木材ふ頭	1 回/週
小型油槽船係留施設	1 回/2 週
出田町ふ頭、瑞穂ふ頭、山内ふ頭、みなとみらい、大さん橋物揚場	1 回/週

4. その他の業務

(1) 食品販売届

食品販売届については、届出のあったものについて、適宜、横浜市港湾局と調整して、内容の審査を行い届出の受理及び届出済証を発行しました。

なお、平成 23 年度は 60 件の届出を受付けました。

(2) 電子申請の普及啓発

新規の公共ふ頭の利用者に対して、電子申請での手続きを依頼し、FAX 申請から電子申請に切り替えるなど、電子申請の普及啓発に努めました。

Ⅳ．その他の報告事項（基本協定第 30 条）

1. 施設の使用状況及び貨物取扱実績

(1) 施設の使用状況

① 上屋

ふ頭名	延有効面積（㎡）	延使用面積（㎡）	使用率
本牧ふ頭	18,774,702	11,722,033	62.44%
山下ふ頭	17,276,664	10,769,656	62.34%
大黒ふ頭	7,808,244	5,984,000	76.64%
山内ふ頭	1,448,994	1,270,752	87.70%
出田町ふ頭	5,246,610	3,083,208	58.77%

※ 延有効面積：告示面積×利用可能日数

② 荷さばき地

ふ頭名	延有効面積（㎡）	延使用面積（㎡）	使用率
本牧ふ頭※	19,786,478	3,572,539	18.06%※
山下ふ頭	12,392,394	4,036,694	32.57%
大黒ふ頭	158,317,326	94,892,235	59.94%
金沢木材ふ頭	10,286,064	8,100,599	78.75%
出田町ふ頭	3,171,024	202,674	6.39%
山内ふ頭	153,720	30,744	20.00%
瑞穂ふ頭	6,160,512	5,354,214	86.91%

※ 本牧ふ頭 D4 耐震化工事の影響により、主に D1 の MY の使用が少なかったことの影響と考えられます。

③ コンテナターミナル用地

ふ頭名	延有効面積（㎡）	延使用面積（㎡）	使用率
本牧ふ頭	3,531,421	3,136,929	88.83%
大黒ふ頭	322,056	313,644	97.39%

④ 在来貨物ターミナル用地

ふ頭名	延有効面積（㎡）	延使用面積（㎡）	使用率
本牧ふ頭	342,192	252,557	73.81%
山下ふ頭	204,252	187,333	91.72%
大黒ふ頭	564,372	564,372	100%
金沢木材ふ頭	2,400	0	0%

⑤　荷役機械

イ）ガントリークレーン

ふ頭名	稼働時間	荷役個数	個数/時間
本牧ふ頭	14,768	542,452	36.7
大黒ふ頭	1,492	47,188	31.6

ロ）水平走行式引込起重機

ふ頭名	稼働時間
大黒ふ頭	187

(2)　貨物取扱実績

① コンテナ貨物取扱実績

（単位：TEU）

ターミナル	種別	取扱量		増減率
		平成 23 年度	平成 22 年度	
本牧 BC	輸　入	471,376	467,661	0.79%
	輸　出	487,480	495,366	▲1.59%
	計	958,856	963,027	▲0.43%
本牧 D	輸　入	28,059	43,346	▲35.27%
	輸　出	33,147	56,298	▲41.12%
	計	61,206	99,644	▲38.58%
大黒 T-9	輸　入	28,383	15,203	86.69%
	輸　出	30,085	18,717	60.74%
	計	58,468	33,920	72.37%
総合計	輸　入	527,818	526,210	0.31%
	輸　出	550,712	570,381	▲3.45%
	合　計	1,078,530	1,096,591	▲1.65%

※本取扱実績は、使用者からの「コンテナ貨物取扱実績報告書」（月次）を集計したものであり、港湾局より発表される統計数値とは異なります。（港湾局統計数値については、参考資料 2 参照）

2. 施設使用等に係る申請等手続き件数

項　目	件数	項　目	件数
入出港届	21,465	専用使用許可申請書（事務所）	83
入港料減免届	6,671	ガントリークレーン運転日報	612
岸壁・けい船浮標使用許可申請書（前日分）	3,626	LLC 使用許可申請書	57
岸壁・けい船浮標使用許可申請書（前々日分）	2,363	LLC 運転日報	57
岸壁・けい船浮標使用許可申請書（500t 未満）	3,519	小型油槽船係留施設使用許可申請書（許可件数）	1,660
定期使用許可申請書	420	引き船係留施設使用許可申請書（山下ふ頭）	2
動静通知書	8,496	工作物等設備承認申請書	9
時間・水先人・曳船変更届	0	工作物等設備廃止承認申請書	0
物揚場使用許可申請書	1,312	工作物等設備変更承認申請書	4
上屋・荷捌地許可申請書	8,267	工事承認申請書	15
上屋・荷捌地使用完了届	313	道路使用承認申請書	4
重量物用橋型起重機使用許可申請書	135	自動車保管場所使用承諾書	27
在来貨物搬入届	4,633	特殊車両通行承認申請書	56
在来貨物搬出届	4,787	港湾施設き損届出書	27
専用使用許可申請書（コンテナターミナル用地）	37	事故報告書	52
専用使用許可申請書（在来ターミナル用地）	99	食品販売届	60
専用使用許可申請書（ふ頭用地）	376	その他	0
専用使用許可申請書（上屋）	149	専用使用許可申請書（ｸﾚｰﾝ）	1

3. 管理運営業務実施報告

(1) 点検及び修繕業務実施報告

項　目	実施頻度	延べ回数
1　建築施設及び設備		
(1) 建築基準法第 12 条による点検	1 回/3 年	1 回(44 施設)
(2) その他建築施設等点検	随時	―
(3) 修繕	随時	71 件
(4) 浄化槽点検		
保守点検（2 ヶ所）	1 回/2 カ月	12/12
（36 ヶ所）	1 回/3 カ月	144/144
（14 ヶ所）	1 回/4 カ月	42/42
（15 ヶ所）	1 回/6 カ月	30/30
清掃（8 ヶ所・全ばっき）	1 回/6 カ月	16/16
（59 ヶ所）	1 回/1 年	59/59
水質検査（1 ヶ所）	1 回/1 年	1/1
薬剤充填（9 ヶ所）	1 回/2 カ月	54/54
（44 ヶ所）	1 回/3 カ月	176/176
（12 ヶ所）	1 回/4 カ月	36/36
（2 ヶ所）	5 回/1 年	10/10
法定検査（67 ヶ所）	1 回/1 年	67/67
(5) 消防用設備等点検		
機器点検	1 回/6 カ月	2/2
総合点検	1 回/1 年	1/1
2　岸壁クレーン関連設備(機械)		
(1) 各種月例点検	毎月	12/12
(2) 修繕	随時	22 件
(3) 年次点検	1 回/1 年	1/1
(4) 性能検査	1 回/2 年	1/1
3　電気設備		
(1) 港湾電気設備		
巡視点検	毎月	12/12
年次点検	1 回/1 年	1/1
修繕	随時	13 件
(2) ガントリー関連電気設備		
各種月例点検	毎月	12/12
年次点検	1 回/1 年	1/1
4　土木施設及び設備		
修繕等	随時	45 件

(2)　清掃業務実施報告

○道路清掃（南本牧は待機レーン・休憩所附帯駐車場及び緑地含む）

エリア	人力清掃(回/月)		機械清掃(回/月)		除草(回/月)		備考
大黒ふ頭	路面清掃（4回/年）		路面清掃（4回/年）				人力清掃(路面)は、3ヶ月で1回
	累計	4回	累計	4回			
	水際線清掃（6回/年）						
	累計	6回					
出田町ふ頭	路面清掃（1回/月 12回/年）						
	累計	12回					
瑞穂ふ頭	路面清掃（1回/月 12回/年）		路面清掃・散水（2回/月 24回/年）				
	累計	12回	累計	24回			
山下ふ頭	路面清掃（1回/月 12回/年）		路面清掃（3回/月 36回/年）		人力除草（2回/年）		
	累計	12回	累計	36回	累計	2回	
本牧ふ頭	歩道部分（5回/年）		道路部分（5回/年）				
	累計	5回	累計	5回			
南本牧ふ頭	歩道、街路植栽帯、厚生施設緑地、厚生施設駐車場、待機ﾚｰﾝ（1回/月 12回/年）						
	累計	12回					

○上屋清掃（休憩室・共用部分・トイレ・シャワー施設）

エリア	日常清掃(回/月)		定期清掃(回/月)		空調等設備清掃(回/月)		備考
大黒ふ頭	休憩室、トイレ、ホール（6回/月 72回/年）		休憩室、トイレ、ホール（4回/年）		全熱交換器、換気扇、ｴｱｺﾝ（2回/年）		
	累計	72回	累計	4回	累計	2回	
山内ふ頭	休憩室、ｼｬﾜｰ室、廊下、階段室、ﾄｲﾚ床面、湯沸質床面（2回/週 104回/年）		会議室床面（1回/年）		空調設備（2回/年）		
	累計	104回	累計	1回	累計	2回	
	水周り（ｼﾝｸ）（1回/週 53回/年）		廊下、階段室、湯沸室床面、窓（6回/年）		換気扇、照明器具（1回/年）		
	累計	53回	累計	6回	累計	1回	
山下ふ頭（トイレ）	床面、その他（3回/週 148回/年）		便所、床（3回/年）				
	累計	148回	累計	3回			
本牧ふ頭（トイレ）	（3回/週 156回以上/年）						週3回以上各利用店社が実施（22社平均）
	累計	171回					

○厚生施設（南本牧ふ頭休憩所は「1　道路清掃」で報告）

対象施設	日常清掃(回/月)		定期清掃(回/月)		空調等設備清掃(回/月)		備考
本牧ふ頭C突堤労働者休憩所	休憩室（週6回/月　297回/年）		休憩室床面（1回/月 12回/年）		窓ガラス（6回/年）		
	累計	297回	累計	12回	累計	6回	
	休憩室トイレ（週6回/月　297回/年）		休憩室トイレ（1回/月 12回/年）				
	累計	297回	累計	12回			
本牧TOC休憩施設	労働者休憩所、ﾄｲﾚ（4回/週 196回/年）						
	累計	202回					
大黒ふ頭T-9休憩所	休憩所、トイレ、風除室（4回/月 48回/年）		休憩所、トイレ、風除室（2回/年）		全熱交換器、換気扇、ｴｱｺﾝ（2回/年）		
	累計	48回	累計	2回	累計	2回	

○公衆トイレ

対象施設	日常清掃(回/月)		定期清掃(回/月)		空調等設備清掃(回/月)	備考
大黒ふ頭T-1公衆トイレ	日常清掃 (8回/月)					
	累計	96回				
出田町ふ頭内公衆トイレ (×3ヶ所)	巡回清掃 (2回/週)		ﾊﾟｲﾌﾟ洗浄 (2回/年)			
	累計	102回	累計	2回		
瑞穂ふ頭内公衆トイレ	巡回清掃 (2回/週)		ﾊﾟｲﾌﾟ洗浄 (2回/年)			
	累計	102回	累計	2回		
金沢木材ふ頭公衆トイレ	日常清掃 (2回/週 104回/年)		床面機械 (3回/年)			
	累計	104回	累計	3回		
			内部壁面 (1回/年)			
			累計	1回		
			照明器具 (3回/年)			
			累計	3回		
本牧A突堤基部事務所公衆トイレ	日常清掃(4回/週 196回/年)		床面 (6回/年)			
	累計	196回	累計	6回		
			内壁 (2回/年)			
			累計	2回		
			外壁 (1回/年)			
			累計	1回		
			照明器具 (1回/年)			
			累計	1回		
本牧D突堤公衆トイレ	日常清掃(週6回/月 297回/年)		定期清掃 (1回/月 12回/年)			
	累計	297回	累計	12回		
南本牧ふ頭厚生センター公衆トイレ	日常清掃(5回/週 246回/年)		床面 (6回/年)			
	累計	246回	累計	6回		
			内壁 (2回/年)			
			累計	2回		
			外壁 (1回/年)			
			累計	1回		
			照明器具 (1回/年)			
			累計	1回		
山下ふ頭内公衆トイレ	日常清掃 (3回/週 148回/年)		床面機械 (3回/年)			
	累計	148回	累計	3回		
			内部壁面 (1回/年)			
			累計	1回		
			照明器具 (3回/年)			
			累計	3回		

○事務所

対象施設	日常清掃(回/月)		定期清掃(回/月)		空調等設備清掃(回/月)		備考
大黒ふ頭管理センター	ﾋﾟｰﾀｲﾙ、ｶｰﾍﾟｯﾄ (2回/週 99回/年)		ﾋﾟｰﾀｲﾙ (6回/年)		照明器具 (1回/年)		
	累計	105回	累計	6回	累計	1回	
	トイレ (5回/週 243回/年)		ｶｰﾍﾟｯﾄ (1回/年)		窓ガラス (4回/年)		
	累計	245回	累計	1回	累計	4回	
本牧ふ頭総合ビル	廊下、階段、トイレ、玄関、ホール (5回/週 243回/年)		2階事務室 (2回/年)				
	累計	243回	累計	2回			
			窓ｶﾞﾗｽ (1回/年)				
			累計	1回			
本牧新建材ふ頭管理棟	休憩所、ｼｬﾜｰ室、湯沸室 (2回/月 24回/年)		床 (3回/年)				
	累計	24回	累計	3回			
	トイレ、玄関、廊下、階段 (2回/週 102回/年)		窓ガラス (4回/年)				
	累計	102回	累計	4回			

○本牧ふ頭塵芥収集（塵芥コンテナ内のごみの収集・処分）

エリア	回数(回/月)		処分量(kg)		備考
A突堤	5回/週		累計	49,071.6	5回/週 (ｺﾞﾐ量により回数変動)
	累計	144回			
B突堤	5回/週		累計	168,367.6	5回/週 (ｺﾞﾐ量により回数変動)
	累計	234回			
C突堤	5回/週		累計	72,565.0	5回/週 (ｺﾞﾐ量により回数変動)
	累計	153回			
D突堤	5回/週		累計	33,506.8	5回/週 (ｺﾞﾐ量により回数変動)
	累計	151回			
合　　計		682回	年間累計	323,511.0	

○不法投棄物対応

エリア	回数
南本牧ふ頭	2回
大黒ふ頭	4回
合　　計	6回

(3)　緑地管理業務実施報告

場所/ 作業内容	機械草刈	低木剪定	高中木剪定【常緑樹】	高中木剪定【落葉樹】	高中木薬剤散布	低木薬剤散布
T-1 号内	1,923 ㎡ (1,923 ㎡)					
T-3 号内	5,382 ㎡ (5,382 ㎡)					
緩衝緑地	19,862 ㎡ (19,862 ㎡)				25 本 (20 本)	40 本 (－)
道路沿	11,984 ㎡ (11,984 ㎡)					
構内街路樹	30,800 ㎡ (29,882 ㎡)	8,322 ㎡ (4,193 ㎡)	90 本 (30 本)			
ﾊﾞｽ停横緑地	1,884 ㎡ (1,884 ㎡)					
累計	71,835 ㎡ (59,102 ㎡)	8,322 ㎡ (4,193 ㎡)	90 本 (30 本)	0 本	25 本 (20 本)	40 本 (－)

※（）内は仕様書に定められた数量

4. 管理運営における施設使用者との協議及び対応の状況

(1) 調整会議の開催等

年間を通じ、使用者との調整会議を開催するなど、あらゆる機会を捉えて、使用者の声、要望等の把握に努め、課題等については速やかな対応に努めました。

【参　考】

会　議	実施状況
①本牧コンテナ業者会 （本牧ふ頭Ａ突堤、ＢＣ突堤、Ｄ突堤におけるコンテナターミナル利用者の連絡調整会議）	平成 23 年 4 月 27 日、5 月 25 日、6 月 22 日、7 月 27 日、9 月 28 日、10 月 26 日、11 月 24 日、平成 24 年 1 月 25 日、2 月 22 日、3 月 28 日の**計 10 回**
②本牧 BC ターミナル利用調整会議 （本牧ふ頭 BC ﾀｰﾐﾅﾙ利用者の連絡調整会議）	平成 23 年 4 月 27 日、5 月 25 日、6 月 22 日、7 月 27 日、8 月 31 日、9 月 28 日、10 月 26 日、11 月 24 日、12 月 21 日、平成 24 年 1 月 24 日、2 月 29 日、3 月 28 日の**計 12 回**
③大黒ふ頭連絡協議会 （大黒ふ頭内に事務所、事業所を設置して事業を営む店社により構成）	平成 23 年 4 月 15 日、5 月 20 日、7 月 20 日、10 月 28 日、平成 24 年 2 月 20 日の**計 5 回**
④本牧埠頭会 （本牧ふ頭内に事務所、事業所を設置して事業を営む店社により構成）	平成 23 年 5 月 18 日、6 月 15 日、24 日、7 月 13 日、9 月 14 日、10 月 12 日、19 日、11 月 9 日、16 日、平成 24 年 1 月 11 日、18 日、2 月 8 日、15 日、3 月 14 日、21 日の**計 15 回**
⑤本牧ふ頭沿岸連絡会 （本牧ふ頭内の公共上屋・荷さばき地を利用する沿岸事業者の連絡会）	平成 23 年 5 月 19 日、7 月 19 日、9 月 20 日、11 月 15 日、平成 24 年 1 月 17 日、3 月 21 日の**計 6 回**
⑥山下ふ頭美化協力会 （山下ふ頭内の清掃・美化推進を目的とする連絡会）	平成 23 年 4 月 21 日、5 月 24 日、6 月 8 日、7 月 21 日、9 月 16 日、11 月 18 日、12 月 16 日、平成 24 年 2 月 15 日、3 月 23 日の**計 9 回**
⑦山下埠頭沿岸業者会 （山下ふ頭内の公共上屋・荷さばき地を利用する沿岸事業者の連絡会）	平成 23 年 5 月 20 日、6 月 15 日、7 月 8 日、11 月 10 日、平成 24 年 1 月 24 日、2 月 22 日の**計 6 回**
⑧山下埠頭安全推進会 （山下ふ頭内の安全・災害防止に資する事業者の連絡会）	平成 23 年 5 月 12 日、6 月 17 日、7 月 15 日、9 月 16 日、10 月 21 日、11 月 18 日、12 月 16 日、平成 24 年 1 月 20 日、2 月 17 日の**計 9 回**
⑨横浜港建材ふ頭運営会 （本牧・金沢・瑞穂ふ頭に所在する建材ふ頭の関係店社により構成）	平成 24 年 1 月 24 日の**計 1 回**

⑩出田町埠頭振興会 （出田町ふ頭内に事務所、事業所を設置して事業を営む店社により構成）	平成 23 年 10 月 14 日の**計 1 回**
⑪鈴繁瑞穂会 （瑞穂ふ頭内に事務所、事業所を設置して事業を営む店社により構成）	平成 23 年 4 月 8 日、12 月 9 日の**計 2 回**

(2) 利用者アンケート

「物流等関連施設」の施設使用者の意見・要望等を把握し、使用者にとって、より使いやすい施設運営に反映させるため、「使用者アンケート」を実施しました。

その結果、当社による公共コンテナターミナル施設及び在来ターミナル施設の運営管理全体について、アンケート回答者の 89%の方から、前年度までの管理体制と比べて印象が「よくなった」「変わらない」との良好な評価を得られました。

一方、在来ターミナル施設が管理施設に加わったことにより利用者の幅も広まり、一層のサービス向上への期待も寄せられていることから、今後も利用者の視点に立った運営管理に努力します。

【実施手法】

実施時期：平成 24 年 2 月

対象：物流関連施設の利用者（荷さばき地、上屋、事務所、コンテナテターミナル用地、在来貨物ターミナル用地、ふ頭用地、岸壁、物揚場、荷役機械等）、船社代理店、その他の 169 社

アンケート回収率：66.8%

（主なアンケート結果）

項　目	平成 23 年度(113 社) 3 段階評価 満足・普通の合計	平成 22 年度(22 社) 5 段階評価 満足・やや満足・普通の合計
物流等関連施設の一元的管理について	89%	95%
公共・公社ﾀｰﾐﾅﾙ間の利用調整	84%	100%
建物、施設関係、道路の清掃・メンテナンス	93%	89%
物流関連施設の保安・警備の状態について	88%	100%
職員の対応（窓口、電話、現場）	88%	100%

※1　平成 22 年度はコンテナターミナル施設の利用者のみからの集計結果。（22 社より回答）

※2　平成 23 年度 3 段階評価　（満足・普通・改善してほしい）

※3　平成 22 年度 5 段階評価（満足・やや満足・普通・やや不満・不満）

5. 収支決算等

平成23年度から在来ふ頭も指定管理の対象となったことから、新たに南・北管理事務所を設置、在来ふ頭業務に精通した職員を中心に配置するなど、業務の継続性の確保と執行体制の強化に努めるなか、運営管理の効率化、嘱託職員の積極的な活用のほか、維持修繕又は委託業務における集約化や一体発注及び入札制度の活用などの見直しを進め、経費削減に努めました。

一方、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により損傷した施設の復旧を優先させたこと、また、工場等が被災したことなどの影響による貨物量の変動が大きかったことなどから、一部の維持補修等の実施が困難になり、やむを得ず実施を見送りました。

見送った維持修繕等の経費は収益としましたが、平成24年度以降確実に実施してまいります。

(1) 収支

（単位：円）

区分	計画額	決算額	備考
指定管理料	690,396,000	690,396,000	
業務外収入	20,000	29,691	利息収入
収入合計	690,416,000	690,425,691	
人件費	172,994,000	170,316,727	
業務管理費	167,342,000	161,509,466	清掃業務、その他事務費
維持改修費	343,555,000	273,002,293	施設管理委託、保守、小破修繕
管理費	6,525,000	6,430,604	事務経費等
支出合計	690,416,000	611,259,090	
収支差額	0	79,166,601	

※すべて消費税込み。

(2) 繰越資金

（単位：円）

区分	決定額
収支差額	79,166,601
消費税納付等	34,179,699
前期繰越資金	－
次期繰越資金	44,986,902

(3) 監査等の状況

平成23年度決算については、新日本有限責任監査法人の保証業務により、『一般に公正妥当と認められる監査の基準』及び『公認会計士等が行う保証業務等に関する研究報告』に準拠して適正意見を受けております。

6. 研修等の実施状況について

指定管理者として、公の施設を管理運営していくうえで、必要な知識の習得や組織体制の強化に必要な職員階層別の研修を以下のとおり実施しました。

研修名	実施時期	備考
新入社員ﾋﾞｼﾞﾈｽ基礎講座	平成 23 年 4 月	5 名参加
新採用職員研修	平成 23 年 4 月	33 名参加
港湾局転入者研修	平成 23 年 5 月	11 名参加
港湾行政実務研修	平成 23 年 6～7 月	1 名参加
みなと塾※1	平成 23 年 6 月	6 名参加
人権研修	平成 23 年 12 月	90 名参加
ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ、個人情報保護研修	平成 24 年 3 月	82 名参加

※1 横浜市港湾局実施の“これからの横浜港を担う人材育成のための研修“

【その他の研修】

・管理職研修（平成 23 年 9 月実施、12 名参加）
・中堅職員研修（平成 23 年 9 月実施、40 名参加）
・博多港ふ頭株式会社による講義（平成 24 年 3 月実施　70 名参加）

Ⅴ．その他（指定管理申請時の取組み・提案の実施状況等）

1. 効率的な管理、利便性向上による利用促進等

平成 22 年 8 月に提出した指定管理者の申請書に記載した当該業務に関する公社の取組み、提案の実施状況等については、以下のとおりです。

(1) 公共・公社コンテナターミナル関連施設の相互融通

平成 19 年度からの 4 年間に引き続き公共コンテナターミナルの指定管理者を当社が行ったことから、利用者との利用調整を円滑・効率的に進めることができました。

特に本牧ふ頭 D-4 号ターミナルの全面改修工事など複数年度に渡る大規模なターミナル工事においては、長期的な視点による利用調整が欠かせず、当社が指定管理者として、継続的に本牧ふ頭 D-4 号ターミナルユーザーと D 公共ターミナルのユーザーとの情報交換等を行うことで、利用調整を円滑に進めることができたと考えています。

【事例】

・本牧ふ頭 D-4 号ターミナル全面改修工事に対応した D 公共コンテナヤードの利用調整
・大黒ふ頭 C-3 号と T-9 号間のターミナル利用調整　など

(2)　在来貨物取扱施設の効率的利用

特に大黒ふ頭において、完成自動車(新車)の取扱事業者にヒアリングを行い、輸出車両とトランシップ車両における効果的・有効的な荷さばき地の使用許可に努めました。

また、東日本大震災の影響等により、一部パーツ製造に発生した遅延により、ＣＫＤの保管期間が長期化した際も、関係事業者との連携・調整に努め、スペースに一時的に余裕のあったコンテナ関連の補完用地を有効利用するなど、施設の効率的な利用に努めました。

【事例】

・海外間取引にかかるトランシップ車両の取扱促進

・ＣＫＤ、完成車両（いすゞ）等の長期蔵置への対応

(3)　その他

在来ふ頭施設も指定管理の対象となったことから、新たに南・北管理事務所を設置、在来ふ頭業務に精通した職員を中心に配置するとともに、業務の継続性の確保と執行体制の強化に努めるとともに、指定管理者業務の全般に渡って事務分掌を見直し、利用者の視点に立った迅速かつ適切な窓口対応が可能な体制を確保しました。

また、維持修繕等にあたっても、整備部門と運営管理部門との連携に努め、土休日の実施や一時的な代替え施設の確保など、荷役作業等への支障が最小限となるよう配慮した実施に努めました。

2.　経費削減策

指定管理者業務の実施にあたっては、迅速かつ適切な対応はもちろん、費用対効果が最大限発揮できるよう委託･工事の発注方法にも配慮し、経費の削減に努めました。

【事例】

・業務経験が豊かな嘱託職員の活用及び人員配置の適正化

・維持修繕又は委託業務における集約化や一体発注及び入札制度の活用

3.　安全管理・法令の遵守等

(1)　安全対策

指定管理業務の実施にあたって、定期巡回を実施し、施設の不良個所の早期発見及び予防措置の実施に努めるとともに、ユーザーとの連携を図る中で、問題点や要望についてのヒアリングを実施しました。

また、土休日等の休業日には、委託警備業者による 24 時間体制の門衛や巡回

を実施し、事故その他の異常が発見された場合は職員による適時の現場対応等を実施しました。

【事例】

・平成 23 年 11 月 4 日：大黒ふ頭Ｔ9 バース SOLAS 事案

・平成 23 年 12 月 31 日：大黒ふ頭Ｔ３上屋漏水

(2) 緊急時の対応策

東日本大震災をはじめ、台風、降雪など過去の災害の経験を基に、防災・災害対策体制を整備し、状況に照らし、各施設使用者への文書による注意喚起や情報提供を行うことで災害発生の防止を図るとともに、被害状況把握と速やかな応急対応を実施ました。

【事例】

・平成 23 年 9 月 21 日：台風 15 号

・平成 24 年 1 月 23 日及び 2 月 29 日：大雪注意報

(3) 法令遵守の推進

公共コンテナターミナルや在来ターミナル施設などの「物流等関連施設」を管理・運営していくうえで、公平性・透明性の確保が重要であることから、必要な啓発、研修等を適宜、実施しました。

① 事故防止への取組み

安全で、安心な施設の提供を念頭に、役員を含めた課長以上の社員で構成する「運営会議」や各部・課内の会議等で、機会を捉え、事故防止等への注意喚起、徹底を図りました。

② 研修の実施

「物流等関連施設」の管理運営を円滑かつ効率的に行うために必要な研修を実施しました。次年度も引き続き、必要不可欠な関係法令を中心とした研修を実施してまいります。

※研修の実施状況は、P15 参照

(4) 個人情報の保護

施設の使用許可申請書等については、個人情報が含まれる書類であることから、「財団法人横浜港埠頭公社個人情報の保護に関する要綱」や「横浜市個人情報の保護に関する条例」を基に、全職員を対象とした個人情報保護に関する研修、コンプライアンスに関する研修を実施するとともに、注意喚起、徹底を図りました。

※研修の実施状況は、P15 参照。

Ⅵ. 最後に

横浜港埠頭株式会社は、特定外貿埠頭の管理運営に関する法律（昭和五十六年四月二十五日法律第二十八号）に基づき、平成 24 年 4 月 1 日に運営を開始しました。

(財)横浜港埠頭公社による「物流等関連施設」の指定管理者としての業務は、平成 23 年度の一年間に限られることとなりましたが、横浜港埠頭株式会社としても、引き続き利用者の視点に立った施設運営を基本に、株式会社化の利点を最大限に活かした施設の運営管理を推進してまいります。

【参考資料 1】

【コンテナターミナル】

□コンテナターミナル関連施設

■荷さばき地

ふ頭名等	施設名
本牧ふ頭	D突堤1号バース荷さばき地
	D突堤2号バース荷さばき地
	D突堤3号バース荷さばき地
	D突堤冷凍コンテナ用1号荷さばき地
	D突堤冷凍コンテナ用2号荷さばき地
	D突堤冷凍コンテナ用3号荷さばき地
	D突堤冷凍コンテナ用4号荷さばき地

■コンテナターミナル用地

ふ頭名等	施設名
本牧ふ頭	BC コンテナターミナル用地
	D 突堤コンテナターミナル用地

■荷役機器

ふ頭名等	施設名
本牧ふ頭	BC－1 号重量物用橋型起重機
	BC－2 号重量物用橋型起重機
	BC－3 号重量物用橋型起重機
	C－2 号重量物用橋型起重機
	C－3 号重量物用橋型起重機
	C－4 号重量物用橋型起重機
	CS－1 号重量物用橋型起重機
	CS－2 号重量物用橋型起重機
	CS－4 号重量物用橋型起重機
	D－3 号重量物用橋型起重機
	D－4 号重量物用橋型起重機

■道路

ふ頭名等	施設名
本牧ふ頭	B－C 間1 号線
	B－C 間2 号線
	B－C 間3 号線
	B－C 間4 号線
	B－C 間5 号線
	B－C 間6 号線
	B－C 間7 号線
	B－C 間8 号線
	B－C 間9 号線
	B－C 間10号線
	B－C 間11号線
	B－C 間12号線
	B－C 間13号線
	B－C 間14号線
	B－C 間15号線
	B－C 間連絡道路
	C 突堤中央道路
	C－D 間2 号線

■荷さばき地

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	T－9 号壁荷さばき地
	冷凍コンテナ用2号荷さばき地

■コンテナターミナル用地

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	T－9 号コンテナターミナル用地

■岸壁

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	C－3 岸壁

■荷役機器

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	T－4 号重量物用橋型起重機
	T－5 号重量物用橋型起重機

■道路

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	T－9 内1 号線
	T－9 内2 号線
	T－9 内3 号線
	T－9 内4 号線
	T－9 内5 号線
	T－9 内6 号線
	T－9 内7 号線
	T－9 内8 号線
	T－9 内9 号線
本牧ふ頭	D 突堤2 号線
	D 突堤3 号線
	D 突堤4 号線
	D 突堤5 号線
	D 突堤6 号線
	D 突堤7 号線
	D 突堤8 号線
	D 突堤9 号線
	D 突堤10 号線
	D 突堤11 号線
	D 突堤12 号線
	D 突堤13 号線
	D 突堤14 号線
南本牧ふ頭	1号線

【物流施設（在来ターミナル等）】

■上屋

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	鉄鋼上屋
	T－1 号上屋
	T－3 号上屋
	T－4 号上屋
	T－5 号上屋
	T－6 号上屋
	T－8 号上屋
出田町ふ頭	2号上屋
	3号上屋
	バナナ1 号上屋
	バナナ2 号上屋
	バナナ上屋付属建物
	青果上屋
山内ふ頭	上屋
山下ふ頭	1 号上屋（3 階建のうち1 階部分）
	2 号上屋（3 階建のうち1 階部分）
	3 号上屋
	4 号上屋
	5 号上屋
	6 号上屋
	7 号上屋
	8 号上屋
	9 号上屋
	10 号上屋
本牧ふ頭	A 突堤1号上屋（4 階建のうち1 階部分）
	A 突堤2 号上屋（4 階建のうち1 階部分）
	A 突堤3 号上屋（4 階建のうち1 階部分）
	B 突堤1 号上屋
	B 突堤 2 号上屋
	B 突堤 3 号上屋
	B 突堤 4 号上屋
	B 突堤 5 号上屋
	B 突堤 6 号上屋
	B 突堤 7 号上屋
	B 突堤 8 号上屋
	B 突堤 9 号上屋
	C 突堤3･4 号上屋
	C 突堤 5 号上屋
	C 突堤 7 号上屋
	C 突堤 9 号上屋
	D 突堤CFS－1
	D 突堤 CFS－2
	D 突堤 全天候はしけ上屋

■在来貨物ターミナル用地

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	1号在来貨物ターミナル用地
	H 号在来貨物ターミナル用地
	I 号在来貨物ターミナル用地
	K 号在来貨物ターミナル用地
	T－1 号在来貨物ターミナル用地
	T－3 号在来貨物ターミナル用地
	T－4 号在来貨物ターミナル用地
	T－5 号在来貨物ターミナル用地
	T－6 号在来貨物ターミナル用地
	T－7 号在来貨物ターミナル用地
	T－8 号在来貨物ターミナル用地
山下ふ頭	B 号在来貨物ターミナル用地
	C 号在来貨物ターミナル用地
	D 号在来貨物ターミナル用地
	E 号在来貨物ターミナル用地
	F 号在来貨物ターミナル用地
	G 号在来貨物ターミナル用地
	H 号在来貨物ターミナル用地
	I 号在来貨物ターミナル用地
	J 号在来貨物ターミナル用地
	K 号在来貨物ターミナル用地
	L 号在来貨物ターミナル用地
	N 号在来貨物ターミナル用地
	R 号在来貨物ターミナル用地
本牧ふ頭	A 突堤2 号在来貨物ターミナル用地
	A 突堤3 号在来貨物ターミナル用地
	B 突堤2号在来貨物ターミナル用地
	B 突堤3号在来貨物ターミナル用地
	B 突堤4号在来貨物ターミナル用地
	B 突堤5号在来貨物ターミナル用地
	B 突堤6号在来貨物ターミナル用地
	B 突堤7号在来貨物ターミナル用地
	B 突堤8号在来貨物ターミナル用地
	B 突堤9号在来貨物ターミナル用地
	10 号在来貨物ターミナル用地
	17 号在来貨物ターミナル用地
	C 突堤A 号在来貨物ターミナル用地
	C 突堤B 号在来貨物ターミナル用地
	C 突堤C 号在来貨物ターミナル用地
	D 突堤全天候上屋付属在来貨物ターミナル用地
	新建材在来貨物ターミナル用地
金沢木材ふ頭	在来貨物ターミナル用地

■港湾環境整備施設（緑地）

大黒ふ頭緑地

■荷さばき地

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	1 号荷さばき地
	2 号荷さばき地
	P－1 号岸壁荷さばき地
	P－2 号岸壁荷さばき地
	P－4 号岸壁荷さばき地
	B 号荷さばき地
	C 号荷さばき地
	D 号荷さばき地
	H 号荷さばき地
	Ｉ号荷さばき地
	J 号荷さばき地
	K 号荷さばき地
	L 号荷さばき地
	Ｔ－1 号岸壁荷さばき地
	Ｔ－2 号壁荷さばき地
	Ｔ－3 号壁荷さばき地
	Ｔ－4 号壁荷さばき地
	Ｔ－5 号壁荷さばき地
	Ｔ－6 号壁荷さばき地
	Ｔ－7 号壁荷さばき地
	Ｔ－8 号壁荷さばき地
	冷凍コンテナ用1号荷さばき地
出田町ふ頭	A 号荷さばき地
	B 号荷さばき地
	E 号荷さばき地
	F 号荷さばき地
	H 号荷さばき地
瑞穂ふ頭	1 号荷さばき地
	2 号荷さばき地
山内ふ頭	A 号荷さばき地

ふ頭名等	施設名
山下ふ頭	A 号荷さばき地
	D 号荷さばき地
	E 号荷さばき地
	F 号荷さばき地
	G 号荷さばき地
	H 号荷さばき地
	I 号荷さばき地
	J 号荷さばき地
	K 号荷さばき地
	L 号荷さばき地
	M 号荷さばき地
	Q 号荷さばき地
	R 号荷さばき地
本牧ふ頭	A 突堤1 号上屋付属荷さばき地
	A 突堤2 号上屋付属荷さばき地
	A 突堤3 号上屋付属荷さばき地
	A 突堤基部荷さばき地
	B 突堤1 号上屋付属荷さばき地
	B 突堤2 号上屋付属荷さばき地
	B 突堤3 号上屋付属荷さばき地
	B 突堤4 号上屋付属荷さばき地
	B 突堤5 号上屋付属荷さばき地
	B 突堤6 号上屋付属荷さばき地
	B 突堤7 号上屋付属荷さばき地
	B 突堤8 号上屋付属荷さばき地
	B 突堤9 号上屋付属荷さばき地
	22 号荷さばき地
	C 突堤B 号荷さばき地
	C 突堤C 号荷さばき地
	全天候はしけ上屋付属荷さばき地
	新建材A 号荷さばき地
金沢木材ふ頭	A 号荷さばき地
	C 号荷さばき地
	D 号荷さばき地
	E 号荷さばき地

■岸壁

ふ頭名等	施設名
出田町ふ頭	C 岸壁
瑞穂ふ頭	岸壁
山内ふ頭	岸壁
本牧ふ頭	新建材1 号岸壁
	新建材2 号岸壁

■小型油槽船係留施設

施設名
小型油槽船係留さん橋

■引き船等係留施設

施設名
引き船係留施設

■物揚場

施設名
末広町物揚場
出田町ふ頭西物揚場
瑞穂ふ頭物揚場
金沢木材ふ頭1 号物揚場
同 2 号同
同 3 号同
同 4 号同
みなとみらい中央物揚場

■荷役機器

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	水平走行式引込起重機

■港湾施設用地

鶴見地区Ⅰ
大黒ふ頭Ⅰ
出田町ふ頭Ⅰ
瑞穂ふ頭Ⅰ
山内ふ頭Ⅰ
みなとみらい中央地区Ⅰ
山下ふ頭Ⅰ
本牧ふ頭Ⅰ
南本牧ふ頭
金沢木材ふ頭

■厚生施設

小型油槽船係留さん橋休憩所
大黒ふ頭T－9 休憩所
大黒ふ頭2 号物揚場休憩所
港湾労働者山内ふ頭休憩所
本牧ふ頭B 突堤2 号上屋付属シャワー施設
本牧ふ頭C 突堤3･4 号上屋付属シャワー施設
本牧ふ頭C 突堤労働者休憩所
本牧ターミナルオフィスセンター休憩施設
南本牧ふ頭休憩施設

■事務所

種別	施設名
総合事務所	大黒ふ頭管理センター事務所
	本牧ふ頭総合ビル
	本牧新建材ふ頭事務所
上屋事務所	大黒ふ頭鉄鋼上屋事務所
	大黒ふ頭T－1 号上屋事務所
	大黒ふ頭 T－3 号上屋事務所
	大黒ふ頭 T－4 号上屋事務所
	大黒ふ頭 T－5 号上屋事務所
	大黒ふ頭 T－6 号上屋事務所
	大黒ふ頭 T－8 号上屋事務所
	山内ふ頭上屋事務所
	山下ふ頭1 号上屋事務所
	山下ふ頭2 号上屋事務所
	山下ふ頭3 号上屋事務所
	山下ふ頭4 号上屋事務所
	山下ふ頭5 号上屋事務所
	山下ふ頭6 号上屋事務所
	山下ふ頭7 号上屋事務所
	山下ふ頭8 号上屋事務所
	山下ふ頭9 号上屋事務所
	山下ふ頭10 号上屋事務所
	本牧ふ頭A 突堤1 号上屋事務所
	本牧ふ頭A 突堤2 号上屋事務所
	本牧ふ頭A 突堤3 号上屋事務所
	本牧ふ頭B 突堤1 号上屋事務所
	本牧ふ頭B 突堤2 号上屋事務所
	本牧ふ頭B 突堤3 号上屋事務所
	本牧ふ頭B 突堤4 号上屋事務所
	本牧ふ頭B 突堤5 号上屋事務所
	本牧ふ頭B 突堤6 号上屋事務所
	本牧ふ頭B 突堤7 号上屋事務所
	本牧ふ頭B 突堤8 号上屋事務所
	本牧ふ頭B 突堤9 号上屋事務所
	本牧ふ頭C 突堤3･4 号上屋事務所
	本牧ふ頭C 突堤5 号上屋事務所
	本牧ふ頭C 突堤7 号上屋事務所
	本牧ふ頭C 突堤9 号上屋事務所
	本牧ふ頭D 突堤CFS－1 付属事務所
	本牧ふ頭D 突堤CFS－2 付属事務所
	本牧ふ頭D 突堤全天候はしけ上屋事務所
その他事務所	小型油槽船係留さん橋事務所
	大黒ふ頭T－9 事務所
	本牧ふ頭A 突堤事務所
	本牧A 突堤基部事務所

■道路

ふ頭名等	施設名
大黒ふ頭	2 号線
	4 号線
	5 号線
	7 号線
	8 号線
	9 号線
	10 号線
	11 号線
	12 号線
	13 号線
	14 号線
	15 号線
	16 号線
	17 号線
	19 号線
	20 号線
	22 号線
	23 号線
	24 号線
	25 号線
出田町ふ頭	2 号線
	5 号線
	6 号線
	8 号線
	9 号線
瑞穂ふ頭	1 号線
	2 号線
	3 号線
	4 号線
	5 号線
	瑞穂橋

ふ頭名等	施設名
山下ふ頭	縦1 号線
	縦2 号線
	縦3 号線
	縦4 号線
	縦5 号線
	横1 号線
	横2 号線
	横3 号線
	横4 号線
	横5 号線
	斜1 号線
	斜2 号線
	斜3 号線
	3･4 号
	5･6 号上屋間道路
	7－10 号上屋間道路
本牧ふ頭	A 突堤中央道路
	A 突堤2 号線
	A 突堤6 号線
	B 突堤中央道路
	B 突堤1 号線
	B 突堤2 号線
	B 突堤3 号線
	B 突堤4 号線
	B 突堤5 号線
	B 突堤10 号線
	B 突堤11 号線
	B 突堤12 号線
金沢木材ふ頭	1 号線
	2 号線

【参考資料 2】

＜港湾施設使用料徴収額と横浜港ｺﾝﾃﾅ取扱量＞

１．　港湾施設使用料徴収額－別途受託

（単位：円）

施設名	徴収額（年額）
岸壁	1,034,682,328
小型油槽係留施設	3,309,513
引船係留施設	5,184,000
ふ頭用地	4,554,644,170
荷さばき地	1,589,087,464
物揚場	3,039,011
ｶﾞﾝﾄﾘｰｸﾚｰﾝ	598,320,286
一般事務所	21,491,400
厚生施設	667,440
上屋一般	107,603,798
上屋専用	1,120,025,627
上屋事務所	50,137,920
荷役機械	13,903,575
合計	9,102,096,562

参考

入港料	447,822,833

２．　横浜港コンテナ取扱量

（単位：TEU）

年	2007	2008	2009	2010	2011
取扱量	3,428,112	3,481,492	2,797,994	3,281,051	3,083,432
うち公社	2,342,720	2,424,873	1,877,669	2,136,391	1,901,874
うち公共	1,063,216	1,038,599	907,026	1,130,085	1,169,530
うち民間	22,176	18,021	13,299	14,576	12,028

（出典：横浜港統計年報）

※2011 年は速報値、それ以前は確定値

※公共分については、本牧 BC、本牧 D-1～3 号、大黒 T-9 号だけでなく他の施設も含むコンテナ取扱量です。